

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第374号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：新旧生徒会役員が座談会を実施。
衆議院選挙、3年生の投票率は？
二面：野球の独立リーグで活躍する
錦城の卒業生を取材！

新しい錦城の未来へ向かって

新旧生徒会役員が語り合う

11月15日(月)に旧生徒会と新生徒会で座談会が行われた。旧生徒会の振り返りやこれから始動していく新生徒会の意気込みや公約について話し合った。個性があふれる、笑いの絶えない座談会となった。(編集部共同取材)

旧生徒会役員が振り返る

新型コロナウイルス感染症の影響で例年の5割ほどしか活動ができなかった旧生徒会。メンバーの5人は活動した1年間について、女子用スラックス導入ができたことは良かった点だと振り返り、新生徒会を「仕事をきちんとこなす」と話した。



「錦城生に問題意識を持ってもらうことが重要です」



新旧生徒会役員と中央委員会一般委員による座談会の様子
引き継ぎや意見交換を行った

生徒会になったS思い

新生徒会メンバー1人ひとりに目標を述べてもらった。実現するために錦城生には何

合唱祭の中止決定 代替行事の行方は？

中止を受けて委員長は

11月4日(木)に発表された合唱祭の中止を受け、合唱祭実行委員長の熊木瑛心さん(2J)を取材した。



合唱祭の中止を受け、思いを語る

熊木さんは「去年に引き続きの中止となってしまったので、錦城の合唱祭を知ることなく卒業してしまうことがとても残念です」と現在の心境を語る。今年こそは合唱祭を合唱祭の雰囲気を感じたこと経験したかったと悔しそうな表情を見せた。

1・2年生の代替行事実施は

合唱祭が中止になった代替行事が企画されている。代替行事について熊木さんは「修学旅行の直前である今年より行事が少ない今年度、定だった日に代替行事は行い今後の合唱祭実行委員会の動きに注目しよう。」(甘・鳥)

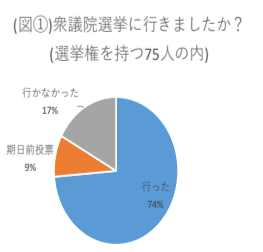
選管委員長、生徒会選挙を振り返る

選挙管理委員長の兒玉ゆかりさん(2C)に今年の生徒会選挙を振り返ってもらった。選挙を終えて兒玉さんは良かった点について「定時連絡放送時に流した立候補者同士による討論会、立候補者たちがお互いに意見を尊重し合っていて良いと感じました」と振り返る。また反省としては「無効票になるようなことをしないで下さい」と呼びかけていたにもかかわらず無効票があったことと語った。



「改善点を修正して来年に引き継ぎたいです」

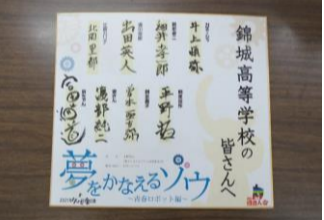
10月31日(日)に行われた衆議院議員総選挙について、3年生の3クラス計1077人がアンケートを実施した。選挙権を持つ生徒は75人で、その中で当日選挙に行ったと答えた生徒は73%(55人)、期日前投票を行ったと答えた生徒は9%(7人)と、選挙権を持つ生徒の「82%」の生徒が投票を行った。(図①参照)



今後選挙権を持つ生徒は選挙について、1・2年生に話を聞いた。Cさん(2年)は、来年日本の政治に選挙を通して関わりたいと意気込む。「1・2年生は選挙権を持っておらず、関係ない話のように聞こえる」と話した。

合言葉は「運がいい！」 視聴覚教室実施

11月5日(金)に2年生、11月12日(金)に1年生を対象に、ルネこだいら大ホールにて視聴覚教室が行われた。演目は劇団自由人会による『夢をかなえるゾウ』。原作は水野敬也さんの『夢をかなえるゾウ』で、脚本は杉野じゅんえさんが手掛けている。



劇団自由人会の方々から頂いたサイン入り色紙

物語る場面から始まる。父親に口ポット製作を反対されている主人公の朝永卓二が部屋にあった置物をこすると、部

むらさき草

あなたは櫻坂46を知っているだろうか。彼女たちは2020年10月13日に、約5年間の活動を終了した櫻坂46から改名し、誕生したアイドルグループである。彼女たちが改名した理由について、櫻坂46のキャプテンである菅井友香は「グループからメンバーの卒業とか脱退も続いて、入れ替えもあったりとかこういうご時世も、いろんなことが重なって、心機一転新しくすることが総合的にもいいかなあって思っています。いろんな可能性が広がっていったらいいなあって思いますが、今日まで活動してきた。改名というきっかけによって、彼女たちはそれぞれの新しい可能性を見つけていけるんじゃないかと思う。櫻坂46時代はコンセプト重視だったので、3年生は大学進学に向けて、いろんな選択をしなければならぬ。自分は現在理系コースに在籍しているが、1年生の文理選択のときに「理系科目が苦手だけれど、2年生から理系に進んでよいのだろうか」という不安があった。2年生の最初の頃は理系科目の授業が多く、正直きついなと思ってしまっていたが、理系を選択して理系科目を勉強せざるを得ない状況になったことで、理系科目にも気持ちが向き、楽しもうと思うようになった。▼気持ちを入れ替えることで、苦手な科目の勉強や嫌なことを乗り越えることができると思う。今後の人生で行き詰まってしまうときは、気持ちを新たに切り替えて挑戦したい。」(紅)

「好きなことをやり続けて」

錦城出身の野球選手にインタビュー

10月28日(木)に、プロ野球独立リーグの群馬ダイヤモンドペガサスに所属する吉岡豊司さん(51回生)取材した。今回の取材で、自身のプレイスタイルや錦城生時代について伺うことができた。

躍動した1年を総括

今年は吉岡さんにとってプロ1年目となるシーズンだった。群馬ダイヤモンドペガサスでのルーキーイヤーを振り返って吉岡さんは「分らないことは多かったですが、シーズンを通して試合に出場できたことは良かったです」と語る。チームは今年、通算5回



夢を追う大切さを語る

吉岡さんが活躍するリーグとは？

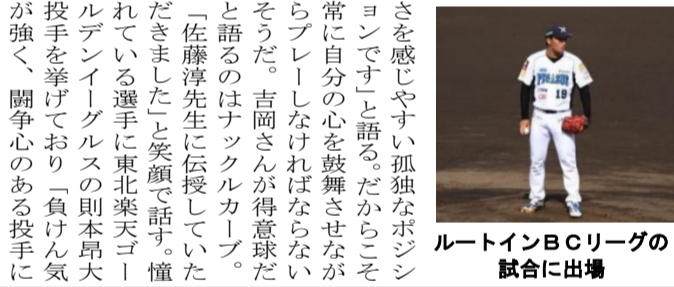
リーグと所属チームを紹介

吉岡さんの所属する『群馬ダイヤモンドペガサス』の戦力はルーティンBCリーグ。これは『独立リーグ』と呼ばれる野球のリーグの一つである。『Baseball Challenge』の略称で、その名の通り『野球に挑戦する人』のためのリーグだ。俗にプロ野球と分かれているのに対して、ルーティンBCリーグは関東、



出典: ルートインBCリーグ公式HP
https://www.rbc.jp/teams_member.php?no=6

「受験勉強をしなければならぬ3年生の2学期になって野球をしようとしたので、1度浪人をしてしまいました」と、紆余曲折があったことを明かす。だが、そこから猛勉強をした末に合格を勝ち取ったそう



ルートインBCリーグの試合に出場

「長打が魅力のチームなので、見えたえのある試合が多いです。ベテランと若手が融合した明るい雰囲気の中で、プレイスタイルを一言で表すなら『現代野球』ですかね」と笑顔で話す。吉岡さんはそんなチームで「来年はもっと良い成績を残せるように頑張ります」と、来シーズン以降の飛躍を誓った。

「好きなことを職業に」という吉岡さんは、野球選手を目指そうと思った理由について「年齢が上がってくるにつれて好きなことができなくなってしまうことが多いですが、あえてそれを仕事にしたいと思ったからです」と語る。吉岡さんは埼玉県にある私立高校の付属中学校に通っていた。しかし錦城の野球部を見学した際に、監督の郷野康輔先生をはじめとしたチーム全体の雰囲気がとても良く「ここで野球をやりたい」と思い、錦城に入学したそうだ。

高校卒業後は埼玉大学に進学。進学理由として「入学すれば野球をしながら教員免許もスムーズに取得できる」とも北信越に本拠地を置く12のチームを「東地区」「中地区」「西地区」の3つのリーグに分け、各リーグ4チームずつで試合を行っている。それぞれの地区優勝を決め、それらの優勝チームがプレーオフを戦い、3地区の中の総合優勝を決める。吉岡さんの所属チームである『群馬ダイヤモンドペガサス』は中地区に所属しており、ルートインBCリーグのチームの中でも最多である5回のリーグ総合優勝を誇る。

「マウンドに懸ける思い」という吉岡さんに「ピッチャー」というポジションについて伺うと「良くも悪くも試合の展開を左右し、いかなかったら試合自体が成り立たないポジションだ」と思っています。ゲームをコントロールする楽しさはありませんが、心理的にも寂しいと感じた。

「錦城時代はどろろだった?」というピッチングスタイルの原点について「その背番号1の投手に負けたくないという気持ちで、今の負けん気を培ったと思います」と笑顔で語った。

「ストイックに夢を追って」という吉岡さんが錦城生時代、51回生はスポーツを得意とする人が比較的多く、特に運動部の活動が盛んだったという。野球部に入っていた吉岡さんは、食事トレーニングのために毎日2〜3Lのタッパーに白米を詰め、別でおかずを持ち歩いていったそう。味を変えたいために、学食でカレーうどんをカレーうどんのように分けてもらい、白米にルーをかけて食べていたという。また「当時は栗林健一郎先生に目をつけられており、教科担当ではないのに『早く帰って勉強しろ』とよく言われていました」と笑顔で語った。

「錦城の野球部に所属していた」という吉岡さんが在籍していた時の野球部は、郷野先生が監督になってから現在に至るまでで最も勝ち進んだ西東京大会ベスト16の好成績を取ったという。吉岡さんは野球部に所属していた頃について「野球部では多くの試合に出してもらいました。自分は背番号1が欲しかったのですが、実際に着けていたのは10番でした。その当時1番を着けていた投手のピッチングスタイルが今の僕の『相手が嫌がる』

「進学の埼玉大学で中学・高校の理科の教員免許を取得した」という吉岡さん。当初は数学の教員免許を所得する予定だったが、理科の甘んじ康寛先生に憧れたこと、化学が得意だったことがきっかけで、理科へ変更したという。錦城のフレンドリーな先生方に出会ったことで、自分も他の世代の人たちに影響を与えたいと思ったことも理由の一つだ。

最後に錦城生へ向けて「好きなことは続けましょう。でも、勉強もしっかりとしましょう」と熱いエールを送った。

「大会報告」11月10日(水) H R委員会
11月11日(木) H R委員会
11月12日(金) H R委員会
11月17日(水) 合唱祭実行委員会
11月24日(水) 体育学芸委員会
11月25日(木) 代議員会
H R委員会

錦城高校新聞、都で最優秀賞

11月13日(土)に都内の新聞部、委員会が集まり、東京都高等学校新聞セミナーが開かれた。例年は三輪田学園高等学校で講義や実習を行っていたが、今回のプログラムは来年度に東京都で開催される全国高等学校総合文化祭に向けた、千代田区にある昭和館での取材会。戦時中の資料が展示された昭和館を学校別に自由に取材した。取材の様子は次号でお届けする。今回の取材会を企画した三輪田学園の寺見忍先生は「去年は開催できなかったが、今年実施できて良かったです」と話す。昭和館を選んだ理由は、取材会の後に三輪田学園に移動することを考えて、徒歩でいける範囲内で有意義な取材ができる場所だったからだそう。最後に「他校と交流する機会はとても少ないと思うので、次回もぜひ、多くの新聞部、委員会に参加してほしいです」と語った。取材会後、三輪田学園に移動し、第37回東京都高等学校新聞コンクールの表彰式が行われた。錦城高校新聞は14年連続で最優秀賞を受賞し、来年度開催される第46回全国高等学校総合文化祭への出場が決定した。委員長の野村美詞さん(2B)は「他校の紙面もレベルアップしてきているので、現状に慢心せず、さらに上を目指していきたいです」と意気込んだ。

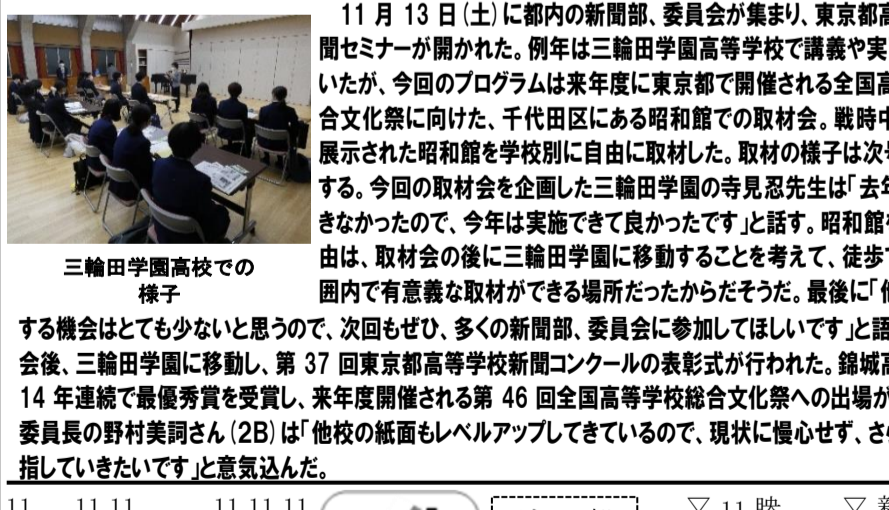
「大会報告」11月10日(水) H R委員会
11月11日(木) H R委員会
11月12日(金) H R委員会
11月17日(水) 合唱祭実行委員会
11月24日(水) 体育学芸委員会
11月25日(木) 代議員会
H R委員会

とうきょう総文プレ大会開催

10月31日(日)、江東公会堂で、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(以下、総文プレ)大会総会開会式が挙行された。今回は新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、無観客での開催。開会式は3部構成にグランドフィナーレを加えたプログラムで行われた。

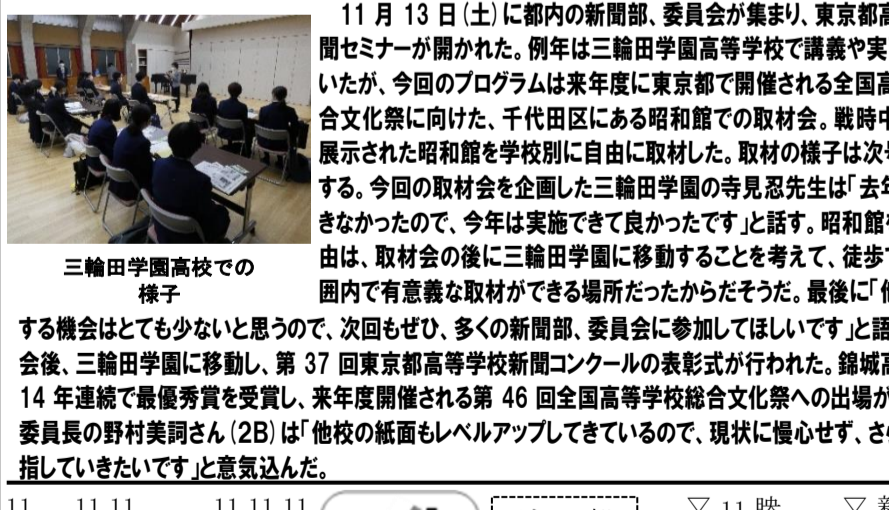
「式典」は、生徒副実行委員長の開会宣言に始まり、部門代表生徒入場や国歌斉唱が行われ、最後に生徒実行委員長による生徒代表の言葉で締めくくられた。続く第2部では、東京都と次年度開催地である鹿児島県の生徒実行委員会が交流。第3部では、高校生によるオリジナルミュージカル『六時間目が、国語』が上演され、最後のグランドフィナーレでは大会イメージソングの合唱が行われた。そして、開会式終了

新聞委員会編集部のメンバーと集合写真



「新聞委員会編集部のメンバーと集合写真」

三輪田学園高校での様子



「三輪田学園高校での様子」

大会報告

「大会報告」11月10日(水) H R委員会
11月11日(木) H R委員会
11月12日(金) H R委員会
11月17日(水) 合唱祭実行委員会
11月24日(水) 体育学芸委員会
11月25日(木) 代議員会
H R委員会

購買横のコピー機、テスト期間も使用可能に

「購買横のコピー機、テスト期間も使用可能に」テスト期間の使用を試験的に許可

紙の補充ペースはテスト期間中も普段通りになります。使用方法に問題があれば使用は禁止になります。今回、テスト期間中の使用を試験的に許可、今後の使用制限についての判断材料とします。

急募!!

「急募!!」スキー同好会の冬合宿参加希望者は12月1日(水)の昼休み、英会話教室へ!

スキー同好会では、冬休みに行われる冬合宿の参加者を募集しています。上級者もスキーを履いたことのない人も、蔵王のスキー修学旅行に備えて滑っておきたいという人も、大歓迎です。他の部活と兼部できる可能性もあるので、少しでも興味のある人は12月1日(水)の昼休みに英会話教室で行う説明会に来てください。また、質問などは顧問の石黒先生(英語科教員室にいます)までお願いします。